

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 生産振興課
 担当名: 花き・果樹・特産・水産担当
 内線: 4382 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
N89	花と緑の振興センター運営費		一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	花と緑の振興センター費	
事業期間	昭和57年度～	根拠法令	花きの振興に関する法律 第5条ほか		針路	12 儲かる農林業の推進	SDGsゴール 2, 17	
					分野施策	1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsターゲット 2-3, 2-4, 17-14	
1 事業概要			5 事業説明					
<p>本県は、全国有数の規模・技術を誇る花植木生産、緑化産業について、産業振興と生産農家の経営安定を図り、技術の継承と更なる発展をすすめる必要がある。ついでには、花植木・果樹苗木の生産出荷技術の指導とともに、緑化関連情報の収集・提供や花植木の展示、造園及び都市緑化技術の指導、輸出検疫の指導等を行うため、施設及び展示植物等を適切に管理運営する。</p> <p>ア 施設管理・運営費 △247千円 イ 技術指導・研修費 △391千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 施設管理・運営費 9,628千円 植木・花き・果樹苗木の生産振興を図るため、施設及び展示植物等の維持管理を行う。</p> <p>イ 技術指導・研修費 1,541千円 植木・花きの普及のため、生産、出荷、輸出に関する指導及び情報の提供を行うとともに、造園技術及び環境緑化技術の指導、県民への啓発を行う。</p> <p>ウ 園芸ボランティア推進費 109千円 園芸ボランティア養成研修等を実施する。</p> <p>エ 樹木展示園管理費 14,243千円 樹木展示園の維持管理作業を委託して実施する。</p> <p>オ 施設整備事業費 756千円 施設を計画的に維持管理し、継続的に活用する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹木等の展示 ほ場面積 20,000m² ・造園技術・専門研修の開講 13回 ・園芸ボランティアの育成 ボランティア受入人数 900人 ・施設の適正かつ安全な管理運営 <p>(3) 事業効果</p> <p>植木・花き生産農家に対し指導機関としての機能を果たし、植木・花き生産等並びに環境緑化の振興に寄与する。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <p>県内都市公園等の緑化を図るため、ボランティア研修の実施やボランティア活動の技術的支援、及びボランティア受入機関との調整を実施する。</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>経費削減による減額、貸付収入の減額</p>					
2 事業主体及び負担区分								
ア～オ (県:10/10)								
3 地方財政措置の状況								
なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×8人=76,000千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の予算額
決定額	△638	使用料・手数料	財産収入				△111	25,639
現計額	26,277	13	769				25,495	

事業内訳書

事業名	花と緑の振興センター運営費		
単位事業名	施設管理・運営費	予算額	△ 247千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
行政財産使用料			
財産収入・ 土地建物貸付収入	△527	—	土地建物貸付収入 花と緑の振興センター
一般財源	280	—	
合計	△247	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△155	—	経費節減による消耗品費等の減
役務費	△87	—	経費節減による通信運搬費等の減
負担金、補助及び交付金	△5	—	経費節減による負担金の減
合計	△247	—	

単位事業名	技術指導・研修費	予算額	△ 391千円
-------	----------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△391	—	
合計	△391	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△83	—	経費節減による報償費の減
旅費	△17	—	経費節減による旅費の減
需用費	△286	—	経費節減による消耗品費等の減
負担金、補助及び交付金	△5	—	経費節減による負担金の減
合計	△391	—	